

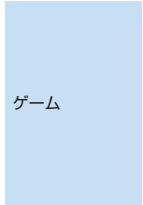







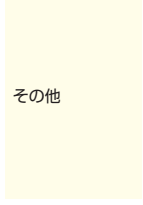
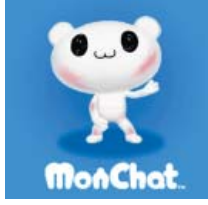


ビジネス概要

事業内容		売上高および収入・営業利益 (単位:十億円)
 <p>エレクトロニクス</p> <p>http://www.sony.jp/index.html</p>	 <p>オーディオ、ビデオ、テレビ、情報・通信、半導体、コンポーネント、その他から構成されるエレクトロニクス事業</p>	<p>02 5,310</p> <p>01 5,473</p> <p>00 4,671</p> <p>■ 売上高 ■ 営業利益</p> <p>02 -8</p> <p>01 247</p> <p>00 99</p>
 <p>ゲーム</p> <p>http://www.scei.co.jp/</p>	 <p>主として(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントによる家庭用ゲーム機およびソフトウェア事業</p>	<p>02 1,004</p> <p>01 661</p> <p>00 655</p> <p>■ 売上高 ■ 営業利益</p> <p>02 83</p> <p>01 -51</p> <p>00 77</p>
 <p>音楽</p> <p>http://www.sonymusic.co.jp/ http://usa.sonymusic.com/international.html</p>	 <p>主としてソニー・ミュージックエンタテインメント社(SMEI)および(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント(SMEJ)による音楽ソフトウェア事業</p>	<p>02 643</p> <p>01 612</p> <p>00 707</p> <p>■ 売上高 ■ 営業利益</p> <p>02 20</p> <p>01 21</p> <p>00 28</p>
 <p>映画</p> <p>http://www.spe.co.jp/</p>	 <p>主としてソニー・ピクチャーズエンタテインメント社(SPE)による映画およびテレビ番組等の事業</p>	<p>02 636</p> <p>01 555</p> <p>00 495</p> <p>■ 売上高 ■ 営業利益</p> <p>02 31</p> <p>01 4</p> <p>00 36</p>
 <p>金融</p> <p>http://www.sony.co.jp/Money/</p>	 <p>主としてソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、(株)ソニーファイナンスインターナショナルおよびソニー銀行(株)による金融事業</p>	<p>02 512</p> <p>01 479</p> <p>00 439</p> <p>■ 金融ビジネス収入 ■ 営業利益</p> <p>02 22</p> <p>01 17</p> <p>00 23</p>
 <p>その他</p> <p>http://www.so-net.ne.jp/ http://www.mediage.jp/</p>	 <p>都市型エンタテインメント事業、ソニーコミュニケーションネットワーク(株)によるインターネット関連事業("So-net")、広告代理店事業およびその他の事業</p>	<p>02 146</p> <p>01 156</p> <p>00 142</p> <p>■ 売上高 ■ 営業利益</p> <p>02 -9</p> <p>01 -9</p> <p>00 -10</p>

2001年度のレビュー

- ブランドビジネスは比較的堅調だったものの、世界的な市場価格の下落、半導体およびPC周辺機器などのOEMビジネスの需要低迷などにより前年度比3%の減収
- 上記要因に加え、構造改革費用の計上、携帯電話ビジネスの損失などにより、営業損失計上
- スウェーデンのエリクソン社との折半出資で、携帯電話端末事業における合併会社ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ社 (SEMC) を2001年10月に設立
- 2002年10月のアイワ㈱の完全子会社化を発表

2002年度に向けて

- 構造改革を継続して推進し、収益性の改善を図る
- ネットワークAV/ITプラットフォームの確立、ハードウェアと半導体やデバイスとの連携強化によるトータル付加価値の最大化、コンテンツ/サービスとの統合によるビジネスモデルの構築などによりネットワーク戦略を加速する

- “プレイステーション 2” (PS2) のハードウェア、ソフトウェアの販売好調により、売上高は前年度比52%の増加となり、初めて1兆円を超えた
- PS2ハードウェアのコストダウンや円安効果、ソフトウェアの販売数量増加により営業利益は大幅に改善、PS2は発売2年目にして収穫期に
- PS2ハードウェアの生産出荷台数:1,807万台
- PS2向けソフトウェアの生産出荷本数:1億2,180万本

- PS2ハードウェアの一層の普及を図ることに、魅力的なタイトルが各ソフトウェア会社から継続的に発売される好循環をさらに推進し、さらなるプラットフォームの拡大をめざす
- PS2のネットワーク接続を順次展開し、オンライン・ゲームをはじめとする新たなエンタテインメントの提供をめざす

- 音楽業界の世界的な低迷、違法デジタルコピーによる著作権侵害の増加、米国による同時多発テロ事件などの影響はあったが、日本での増収や円安効果もあり、前年度比5%の増収
- 市場低迷、違法コピーの増加および継続的な構造改革にかかる費用計上などにより前年度比2%の営業減益
- 2001年12月より、米国ユニバーサル・ミュージック・グループ社と合併で、著作権に配慮した音楽配信サービス“プレスプレイ”を展開

- 充実した新作ラインアップを引き続き提供する
- 構造改革を継続し、収益改善を図る
- デジタル配信から収益を得るビジネスモデルを構築する

- 映画作品やDVDソフト、ゲームショー番組の好調により前年度比15%の増収
- 映画ラインアップの収益性改善や全世界的でのDVDソフトの好調により、前年度比270億円の営業増益
- インターネット上でビデオ映像を編集・共有するためのソフトウェアツールを提供するサービス“スクリーンラスト”を開始

- 多様な映画ラインアップにより収益性の最大化を図るとともに、映画作品のブランドを確立することによりビジネスチャンスを広げる戦略を引き続き展開する
- 構造改革を一層推進し、収益改善を図る
- 他のハリウッドのスタジオと合併で、インターネットを介した映画作品の配給サービス“ムービーリング”を開始する




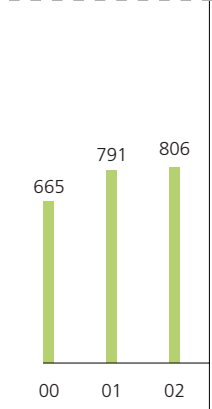
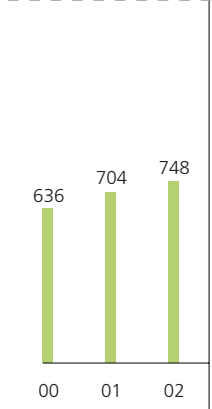
- ソニー生命保険㈱における個人保険契約高の伸長に伴う保険収入の増加や、ソニー損害保険㈱における新規契約数の伸長などにより前年度比7%の増収
- 前年度比27%の営業増益。ソニー生命保険㈱が保険収入の大幅増加により増益となったほか、(株)ソニーファイナンスインターナショナルも増益。ソニー損害保険㈱は損失縮小。ソニー銀行㈱は立上げ費用計上などにより損失計上。

- 個人個人のライフスタイルや嗜好に合わせ、既成の枠にとらわれない新しいタイプの商品・サービスを引き続き提供する

- 日本の広告代理店事業子会社の減収などにより前年度比6%の減収
- 日本と米国の都市型エンタテインメント事業およびソニーコミュニケーションネットワーク㈱ (SCN) の損失により営業損失計上

- SCNは、今後、さらにソニーグループとの連携を強化しつつ、ブロードバンド環境に対応したコンテンツの充実を図り、ブロードバンド・サービスプロバイダーとしてナンバーワンをめざす

ビジネス概要 (エレクトロニクス)

	オーディオ	ビデオ	テレビ																								
																											
売上高 [対外部顧客] (単位:十億円)	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales (十億円)</th></tr> <tr><td>00</td><td>733</td></tr> <tr><td>01</td><td>756</td></tr> <tr><td>02</td><td>747</td></tr> </table>	Year	Sales (十億円)	00	733	01	756	02	747	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales (十億円)</th></tr> <tr><td>00</td><td>665</td></tr> <tr><td>01</td><td>791</td></tr> <tr><td>02</td><td>806</td></tr> </table>	Year	Sales (十億円)	00	665	01	791	02	806	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales (十億円)</th></tr> <tr><td>00</td><td>636</td></tr> <tr><td>01</td><td>704</td></tr> <tr><td>02</td><td>748</td></tr> </table>	Year	Sales (十億円)	00	636	01	704	02	748
Year	Sales (十億円)																										
00	733																										
01	756																										
02	747																										
Year	Sales (十億円)																										
00	665																										
01	791																										
02	806																										
Year	Sales (十億円)																										
00	636																										
01	704																										
02	748																										
主要製品	家庭用オーディオ、携帯型オーディオ、カーオーディオ、カーナビゲーションシステム	ビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、ビデオデッキ、DVDプレーヤー/レコーダー	ブラウン管テレビ、プロジェクションテレビ、デジタル放送受信システム																								
2001年度のレビュー	CDやMD方式のヘッドホンステレオへの需要は西欧で伸びたものの、米国・日本での家庭用電話ビジネスからの撤退や、多くの地域でラジオカセットコーダーや据置型オーディオの売上が減少したことにより、前年度比1%の減収	アナログビデオカメラやビデオデッキの売上は減少したものの、デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、DVDプレーヤーの売上が、日本を除く多くの地域で増加したことにより、前年度比2%の増収	ブラウン管方式のテレビの売上は微減となったものの、大型プロジェクションテレビの売上が米国と中国を中心に増加したことや、放送受信端末の売上が増加したことにより、前年度比6%の増収																								

情報・通信	半導体	コンポーネント	その他																																
																																			
 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales</th></tr> <tr><td>00</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>01</td><td>1,323</td></tr> <tr><td>02</td><td>1,228</td></tr> </table>	Year	Sales	00	1,032	01	1,323	02	1,228	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales</th></tr> <tr><td>00</td><td>164</td></tr> <tr><td>01</td><td>238</td></tr> <tr><td>02</td><td>182</td></tr> </table>	Year	Sales	00	164	01	238	02	182	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales</th></tr> <tr><td>00</td><td>568</td></tr> <tr><td>01</td><td>613</td></tr> <tr><td>02</td><td>572</td></tr> </table>	Year	Sales	00	568	01	613	02	572	 <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Sales</th></tr> <tr><td>00</td><td>598</td></tr> <tr><td>01</td><td>575</td></tr> <tr><td>02</td><td>509</td></tr> </table>	Year	Sales	00	598	01	575	02	509
Year	Sales																																		
00	1,032																																		
01	1,323																																		
02	1,228																																		
Year	Sales																																		
00	164																																		
01	238																																		
02	182																																		
Year	Sales																																		
00	568																																		
01	613																																		
02	572																																		
Year	Sales																																		
00	598																																		
01	575																																		
02	509																																		
<p>PC、コンピューター用ディスプレイ、携帯電話端末（2001年10月以前）、プリンターシステム、携帯情報端末、放送用・業務用オーディオ/ビデオ/モニター、その他の業務用機器</p> <p>米国でPC“バイオ”の売上が増加したものの、日本で発生した品質問題やSEMCへの事業移管による携帯電話の売上減少、欧米を中心としたブラウン管方式のPC用ディスプレイの売上減少により、前年度比7%の減収</p>	<p>LCD、CCD、その他の半導体</p> <p>世界的な半導体の需要減を反映し、主力のMOS IC、CCD、バイポーラIC、LCDの売上が減少したことにより、前年度比23%の減収</p>	<p>光学ピックアップ、電池、ブラウン管、オーディオ/ビデオ/データ記録メディア、データ記録システム</p> <p>“メモリースティック”の売上は増加したものの、PCメーカーの生産拠点であるアジアを中心にCD-R/RWドライブやPC用ディスプレイ向けブラウン管の売上が大幅に減少したことにより、7%の減収</p>	<p>アイワ(株)の製品および、ICカード、エンターテインメントロボット、SEMC向け携帯電話端末の売上（2001年10月以降）、その他の製品やサービス</p> <p>アイワ(株)の売上がほとんどの地域で大きく減少したことにより前年度比11%の減収</p>																																

(3月31日に終了した1年間)